

2013年度第2回環境工学委員会建築設備運営委員会 議事録

- 日時：2013年9月19日（木） 17：00-19：00
- 場所：建築会館（東京都港区）
- 出席者：郡公子、長井達夫、長谷川巖、石野久彌、古賀誉章、佐々木邦治、清水昭浩、
高草智、仲野章生、羽山広文、細淵勇人、松本真一、森川元樹、横山計三

■ 配布資料

1. 資料 2-1 建築設備運営委員会 2013年度第2回 議事次第
2. 資料 2-2 建築設備運営委員会 2013年度第1回 議事録案
3. 資料 2-3 日本建築学会教育賞候補推薦書
4. 資料 2-4 2014年大会 OS テーマ
5. 資料 2-5 第9回建築設備シンポジウム プログラム
6. 資料 2-6 2013年度第2回環境工学委員会議題
7. 資料 2-7 2013年度第1回気象データ小委員会議事録（案）
8. 資料 2-8 次世代排水システム小委員会第8回議事録（案）
9. 資料 2-9 ヒューマンファクターに配慮した環境構築小委員会（第2回）議事録案

■ 議題

1. 前回議事録確認（資料 2-2）
 - ・異議なく了承された。
2. 建築設備シンポジウムについて（資料 2-5）
 - 1) 参加広報について
現在参加申し込み受け付け中である。昨年は 280 名参加があった。今年も多数の方にシンポジウムに参加していただけるよう、各委員が広報することとする。シンポジウムのチラシを修正後、長谷川幹事から各委員に配信するのでそれを利用する。
 - 2) 原稿投稿状況について
原稿未提出があるので、担当を決めて原稿提出のお願いをする。
3. 環境工学本委員会（9/19 開催）について（資料 2-6）
 - ・非会員が委員会に参加しようとする場合、会員になってもらうことを原則とする。
 - ・来年度の大会（神戸）について、4/8 原稿締切、4/22 プログラム編成会議の予定である。今年の大会での若手表彰は実現しなかったが、来年度は実施の方向で検討することになった。
 - ・業績候補推薦について審議された。
4. 教育賞（教育業績）候補推薦について（資料 2-3）

本年度の推薦については、候補者の教育業績に重点を置いて推薦することとした。
5. 来年度大会オーガナイズドセッション（資料 2-4）

概要締め切り後の追加投稿は認められないので、テーマ「環境技術の評価技術」に沿って、期限内に投稿してほしい。

6. 小委員会報告（資料 2-7, 2-8, 2-9）

1) ヒューマンファクターに配慮した環境構築小委員会（横山委員、資料 2-9）

7/25 に第 2 回目を開催。低炭素型オフィスの事例について報告があった。ヒューマンファクターの定義・キーワード・記事をもとに議論を行った。自己効力感、変動性と快適感の関係について議論した。成果についてシンポジウムを開催する予定である。

2) 気象データ小委員会（松本委員、資料 2-7）

紫外線データの高精度な推定について取り組んでいる。TOMS オゾンデータの援用について検討している。また、今までの研究領域を超えて、海外のデータ、光合成有効放射量などについても検討している。

→ 年度の新しい拡張 AMeDAS 気象データの整備が早くできるとありがたい（石野委員）

→ 気象データの時間の考え方（正時のデータとするか 1h の平均とするか）について検討してほしい（石野委員）

3) 環境設備に関する学会規準（AIJES）における性能レベル検討小委員会（森川委員）

この間 2 回小委員会を開催。環境評価に関連して LEED、BREEAM 等の情報収集を行っている。小規模建築の設備設計における実用的な評価方法、評価シートの整備について検討している。最終的に出版を計画している。

4) 次世代排水システム小委員会（古賀委員、資料 2-8）

8/7 に小委員会を開催。ベッドサイド用トイレについて報告があった。サイホン排水、機械排水を対象とした設計ガイドラインの素案を作っている。また、ガイドラインに対する設計者の立場からの検討も行っている。

5) 環境建築システム小委員会（長井）

7/22 に第 2 回目を開催。建築設備に関する環境技術の教育普及を目的として、出版企画を立てている。既出版の「見る 使う 学ぶ 環境建築」との関連や内容構成について検討している。今年中には出版計画をまとめる予定である。

6) ガラス建築快適環境 WG（佐々木委員）

この間 2 回開催した。ガラス建築に関する出版の準備を行っている。紙媒体の出版をしてくれる出版社が見つげにくい状況にある。テーマとしては、ガラス建築だけでなくファサード全般を対象とし、建築設計者にも興味を持ってくれるようなものを考えている。

→ TeX を使って完成原稿を作成する方法であれば安価に出版可能である（松本委員）

7. その他

- ・ 来年度活動計画案・予算原案について 10/20 を期限として各小委員会から郡主査に提出する。
- ・ 建築設備シンポジウムの学生アルバイトは宇都宮大 3 名＋東京理科大 3 名とする。アンケートを取る可能性もある。

8. 次回以降開催予定

11/28, 2/21 場所は建築会館

以上